

西原の年中行事

その②

五月ウマチー(呉屋)

先月よりスタートした「西原の年中行事」シリーズ。今月は六月二十一日(旧暦五月十五日)に行われた五月ウマチーをご紹介します。

五月ウマチーは旧暦五月に行われ、稲の実りを静かに祈る祭りです。西原町でも各字で行われていますが、今回は呉屋の五月ウマチーを取材しました。

呉屋の五月ウマチーは、午前中にムラで最も古い門中のムートウヤーでウンスク(神酒)をつくることから始まり、午後になるとムートウヤーに門中の人たちが集まって健康と子孫繁栄を祈願します。お話しによると、五月ウマチーは年中行事の中でも大切な祭りであり、町外に住む門中の方々もムートウヤーに呼びに来るそうです。

☆☆☆

① ウンスクづくり

ウンスクは、祭り当日の朝、女性役員たちによってつくられます。



ウンスクをつくる様子(ムートウヤーにて)

ウンスクは地域によって作り方、味が違うそうです。皆さんが住んで

る地域のウンスクはどんな味ですか？

☆☆☆

② 拝所めぐり

夕方、それぞれの門中で井戸をまわって拝みをした後、トウンとよばれる聖地へ集まり、そこで拝みが行われます。その後、参加者全員にウンスクが振舞われました。

今年例年に比べ参加者が少なかったそうですが、それでも多くの人が集まっていました。

最後に、厳かな祭りの取材を快く許可し、また、私たちの疑問に丁寧にお答えくださった役員のみならず、本当にありがとうございました。



ウンスクをいただく様子(トウンにて)

「慰霊の日」特別企画

—にしはらの沖縄戦—

戦前から戦後の すがた

～アンケート結果～

去る六月二十二日(火)二十九日(水)の間、

町立図書館のエントランスホールで「慰霊の日」特別企画として展示会を開催しました。期間中は多くのみなさまが展示会へ足を運んでくださり、その関心の高さを改めて実感しました。

今回、私たちは会場の一角にアンケート用紙をおき、企画展に関するアンケート調査を実施しました。アンケートには子どもから大人まで、多くのみなさまがお答えくださいました。アンケートでは展示会について、沖縄戦についてなど、それぞれいくつかの質問をしました。

「展示会について」

多くの方から「良かった」という評価をいただきました。ですが、「説明文が難しい」とか「資

料が少ない」などの指摘もいただきました。この点は今後活かせるよう頑張ります。

「沖縄戦について」

「沖縄で戦争があったことを知っていますか？」との問いに対し、回答者全員が「はい」と答えたのですが、「西原が激戦地だったことを知っていますか？」の質問には全体の五十四パーセントが「知らない」と答えました。中でも、「知らない」と答えた人の約七十パーセントが十代という結果となりました。

戦争が終結して六十年。ちょうど、沖縄戦が始まった年に生まれた子どもたちが還暦を迎える年でもあります。

「体験者が減っていくなか、私たちは沖縄戦をどう語り継いでいけばいいのだろうか・・・」みなさまからのアンケートを手に、そう思わずにはいられませんでした。

☆☆☆

西原町立図書館

町史編集係